

令和5年度 石川県教育委員会指定 いしかわ道德教育推進事業

自己を見つめ、互いに認め合い、 よりよく生きようとする生徒の育成

～本音で語り合える学級風土の醸成と、「考え、議論する」授業づくりを通して～

〈研究仮説〉

- ・「考え、議論する」道德の実践を中心として、意図的、計画的な学習を積み重ねること
で、生徒の道德的実践意欲が育まれ、道德教育の充実が図れるだろう。
- ・生徒が自分の学級に対する興味や関心をもとに学級づくりに取り組むことで、主体的、
対話的な学びにつながり、よりよく生きようとする生徒の育成にせまれるだろう。

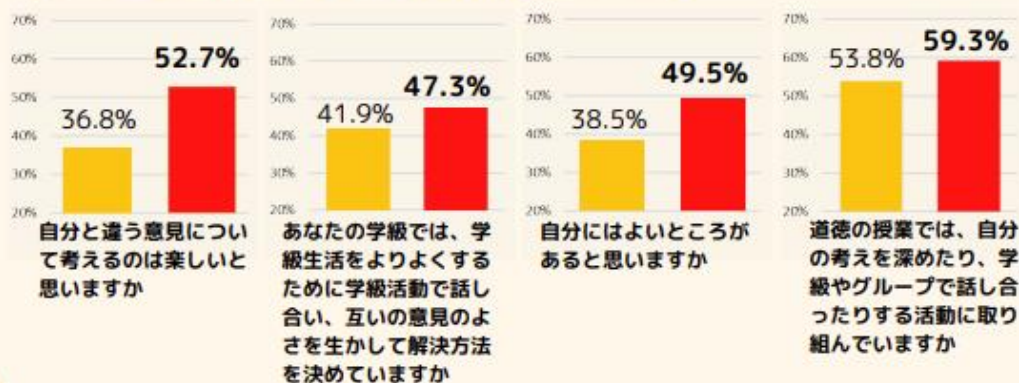


令和5年11月17日（金）
輪島市立輪島中学校

道徳アンケート結果から見えた成果

※「あてはまる」と回答した生徒の割合

■…4月 ■…9月



成果

- ・生徒の発言に対し教師が意図的に「問い返し」「切り返し」をすることで、発言をより具体化させたり角度を変えて見つめさせたりすることができた。
- ・道徳ノートを使うことで、生徒の学習を継続的に深めていくことができ、成長の記録として活用したり、教師が授業の評価に生かしたりすることができた。
- ・ICT機器の活用で発表の苦手な生徒も考えを伝えるようになったことで、多くの意見にふれることが可能となり、話し合いの深まりにつながった。
- ・学級力アンケートでクラスの状態が視覚化された。また、結果を生徒と共有することで、教師と生徒がともに良い学級を目指す方向づけができた。

課題

- ・学習を深めるために、教師の「問い返し」や「切り返し」などの発問の精度とコーディネート力を高めること。
- ・生徒と共につくっていく創造的な板書によって、生徒の思考の深まりを目指すこと。
- ・生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握できるよう、評価を充実させること。
- ・生徒の多様な感じ方や考え方などを自由に表現できるよう、学級力を高める活動の継続によって支持的な学級風土を醸成させること。

【輪島市教育大綱 基本理念】
人生100年時代を
幸せに生き抜くための教育

自己を見つめ、互いに認め合い、よりよく生きようとする生徒の育成

～本音で語り合える学校風土の醸成と、「考え、議論する」授業づくりを通して～

詳細はQRコードを読み込んで閲覧ください



税関と生徒の反応を
教師間で共有して
税関を精選する

ねらいにせまる幾間の工夫

ワードカードを活用した話し合いの工夫

徒が互いに問い返せるツールを活用することで議論を深める



考えを共有するためのICT活用



議論のきっかけや思考を深める
ツールとして有効に活用する

2000

道徳的価値への思考を深めることができる創造的な板書を工夫する



道德教育の重点目標

五十年來

- ・自主的に考え行動する態度を養い、自覚性を育成する
- ・思いやりの心を持ち、相手の立場を尊重し、助け合う心を育成する

学級力向上プロジェクトの推進



学級の様子を毎月の学級力アンケートで見える化する



団にしていくために、学園力
アンケートをもとに話し合う

年間指導計画の見直し



字綴力と道徳科の内容
容項目との関連を意
識して作成する



はかき新聞で交流を固り生
 同士の相互理解につなげる

道徳ノートの活用

業改善のツールとして活用する

心に響く体験活動づくり

生健同士のつながり



委員会活動や学校行事などの活動を通して、自治的能力や輪中生としての自覚と一体感を高める

歐戰大略

地域とのつながり



社会体育大会で
ボランティア活動

